



平成28年第2回定例会

平成28年第2回定例会は、6月3日から29日までの27日間の会期で開きました。今定例会には条例の改正など議案9件が提出され、すべて原案可決となりました。なお、各委員会での審議内容は次のとおりです。審議結果一覧については、4頁に記載しています。

Point1

より適正な文書管理を行うため、庁舎整備に合わせてファイリングシステムを導入します

従来の簿冊管理を改めファイリングシステムの導入を進めます。

主な質疑

Q 導入にあたり、年度が古くなった書類の保管にもプラスの効果はありましたか。

A 今までは書類を留め金具から外すという手間をかけ整理していましたが、それがなくなり随分違うと思います。現在行われている試験導入の成果と効果は、基準表により細かく分類しており、どこか書棚に何が入っているかも明記していますので探すのが容易になり、なおかつ担当者でなくとも探す事が可能です。ファイリングシステム

Q ファイリングシステム

A 今回の補正予算の委託料は庁舎とウエルぷらと、文化センターの一部についての経費を計上しました。来年度は出先機関等が導入するので、改めて予算計上させていただきます。



Q 現在行われている試験導入の成果と効果は、基準表により細かく分類しており、どこか書棚に何が入っているか

A ※ファイリングシステムとは、文書を個別フォルダーで収納、管理し、専用のキャビネットで保管するもの。

Point2

B型肝炎予防接種が定期接種になります

国がB型肝炎ワクチンを定期接種（生後1歳未満の間に3回接種）とすることに伴い、予防接種委託料の予算を追加します。

質疑意見など

Q B型肝炎ワクチンの接種について、法改正がされていない状況の中、野田市では9月議会でも間に合うと言っているのに、なぜ白井市では6月議会で補正予算にあげているのですか。

A 国の厚生科学審議会予防接種ワクチン分科会が「10月から定期接種にする」と承認したので受け、今年2月、国から実施するとの通知が届いており、6月17日に閣議決定の予定です（閣議決定を受け、6月22日公布）。今年4月以降生まれたお子さんを対象に、10月に入れば、即、接種いただける。1歳までに3回の接種が出来なくなってしまう。また、夏頃から通ずるための準備の都合もあり、6月議会で議決をいただき、執行すべきと判断いたしました。

反対

反対

10月1日開始予定に向けて、準備していくことも十分理解はしますが、現時点では法改正されていないことから、今議会で補正することには疑義があります。全てのワクチンには副反応がありますから、B型肝炎ワクチンにも副反応があるということをわかりやすく保護者に伝える必要がありますから、しっかりとやっていただきたい。

Point3

マイナンバーカードを利用して住民票等のコンビニ交付サービスを導入します

マイナンバーカードを利用して平成29年1月から、全国の主なコンビニエンスストアで住民票と印鑑登録証明書が取得できるようになります。

主な質疑

Q コンビニ交付のメリットについて。

A 申請書の記載が不要になり勤務先や居住近隣のコンビニでも証明書が取得できること、また利用時間帯は6時から23時まで、市役所がない土日祝日も利用できます。

Q コンビニ交付の発行経費は、1枚当りの発行経費は、コンビニ交付において1月から3月までの利用見込みを300枚と

A 他市の状況は、平成27年度には100自治体を実施し、今後増える見通しです。近隣では松戸市、市川市、成田市、船橋市等が既に実施しています。



6月24日に、市議会議員と市民団体「北総線の運賃値下げを実現する会」との意見交換会を行いました。

市議会では市民との対話を進めています

市政のここが知りたいたい

平田 新子議員

防災・まちづくり・窓口業務における市と市民の関係性構築のための工夫

○ 被災地熊本で大変有効だった情報手段SNS活用が白井市地域防災ファイルには全く記載されていません。市の今後の取り組みは。

○ SNSが市民の情報共有に非常に有意義との認識はあり、現在の白井配信サービスといったツールを防災情報発信にも活用して参りたいと思っております。

○ 災害時のBCP（事業継続計画）作成については、現在未策定ですが、今後、新市庁舎完成や危機管理課設置等の新体制に対応する形で、BCP策定に

血脇 敏行議員

防災対策・災害発生時の対応は

○ 防災意識の高揚を図るため市の取り組みの現状は、マニュアルとなる「総合防災ハザードマップ」の全戸配布「自治会等向け災害時対応マニュアル」を自治会



総合防災ハザードマップ

および自主防災組織へ配布等して対応しています。

○ 継続性や公平性を担保し市民に胸襟を開いて協力いただく小学校単位のまちづくりの進め方については、相互コミュニケーションが全てのスタートで、コ

ーディネートの役割が非常に重要だと考えております。

○ 役所内の横断的関係性構築や情報共有については、市民に密着する諸課で庁内組織を立ち上げます。

○ 市民活動推進センターの今後と中間支援業務は、まだ詳細は決まっております、今後考えていきます。

○ 不登校、長期欠席等の社会背景にひとり親家庭、貧困等による要因を鑑み、家庭教育低下に対する支援体制の充実をどのように考えていくのかお伺いします。

○ まちづくりという観点からの子育てを考え、福祉部門と教育部門、そして行政の分野と市民が一体となり教育環境を整え、教育相

竹内 陽子議員

これから必要な家庭教育支援体制



談の充実を図るため国、県へ相談員の配置の要請をしていきます。

地域包括ケアシステムの具体的な事業の推進は

○ 「地域で支える高齢化」の取組み、在宅医療と介護の連携、サロンについてどのように進めていきますか。

○ 今年度から生活支援コーナーディネーターを配置したことや、特別養護老人ホー

15人(28項目)の質問があり、その要約を掲載しました。詳細については、会議録をご覧ください。この記事は各議員が作成しています。

斉藤 智子議員

子ども子育て事業の市の取り組み



○ 現在の入所状況と保育士不足の方策を伺います。

○ 平成28年度4月1日時点で待機児童ゼロを達成し、約1900名の方から回答をいただいたおり、要

○ 先の熊本地震被災地に職員を派遣した経緯は、県を通して市に要請があり、被災地支援になれば

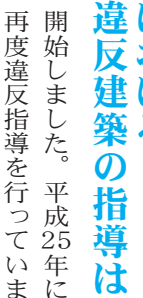
○ 28年度から国の制度として年収360万円未満世帯の保育料が、多子世帯では、第1子が何歳であつても下の子はそれぞれ半額、

○ 無料になり、さらにひとり親世帯では、第1子は半額、

○ 甘利事件の舞台となつた北環状線道路予定地は、昭和45年に企業庁が用地取得した後に産廃が積まれ、平成4年ごろ、違反建築物が建てられました。これま

柴田 圭子議員

北環状線予定地における産廃不法投棄と違反建築の指導は



○ 産廃については、県の権限で何度も勧告し、行為者も逮捕されたりしましたが、解決に至っていません。

○ 甘利事件ではお金の収受が問題になっていますが、

○ 薩摩興業の社長とライオンズクラブのチャリティゴルフで会ったことはありますが、それ以外は記憶にありません。

○ 「第二次健康プラン」についても質問しました。

田中 和八議員

教育振興基本計画を作成しない理由は

○ 教育振興基本計画を作成しなくても問題ないか。

○ 第三者委託により指導員の待遇改善はできませんか。

○ 平成27年度から取り組んでいます。一定の処遇が担保されるよう統一的な基準づくりを進め、仕様書の中に盛り込んでいきます。

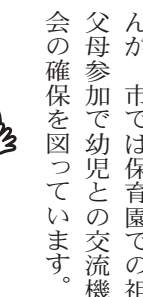
○ 保護者負担軽減のため市が出来る支援は。

○ 親元同居近居支援制度の目的は。

○ 市政運営には人口バランスが大切です。このため若い世代の定住策として、親世帯との近居、同居を促す制度です。同居等のため住宅購入や、増築に最高50万円を補助します。制度の周知に努めています。

植村 博議員

祖父母参加で孫育て



○ 祖父母手帳の作成は、子育て支援には祖父母の役割が重要です。祖父母にとっても生きがいとなります。価値観の違いなど課題もあり、他市では祖父母

○ 出前市役所の試みは

○ お茶の間市役所の試行的取り組みは。

○ 公民センターで、再任用職員によるまちづくり協議会設立の取り組みを始めたいと考えています。

中川 勝敏議員

国保税の引き下げを

問 一人あたりの国保税が県内でも高額だが現状は。

答 国保の税率としては、近隣市と大きく変わらず、所得の高い被保険者が多いことが大きな要因です。印西市とはほぼ同額です。

問 国保の基金の推移は。

答 国全体の課題であり、子育て支援の一環としても負担軽減を要望しています。

小中学校へのエアコン設置を

問 今年度の環境調査は。

答 授業環境の整備もあるが、冬の小学校低学年の授業増で下校時の安全が担保しにくくなり、エアコンを設置した場合、夏休みの短縮等が考えられます。

永瀬 洋子議員

再生可能エネルギーの活用と緑あふれるまちづくりを

問 市内のソーラーパネル設置状況は。

答 パネル設置に手続きは不要です。農地転用や森林伐採、埋め立て等をする場合は申請手続きが必要です。それらの集計はしていないので把握できていません。

問 各地でパネル設置に伴う問題も起きており、自然環境の破壊につながる例も把握していないのですか。

答 市内の状況を市は直接把握していません。



市内の営農型太陽光発電設備

見受けられます。推進条例も多く設置されていますが、最近では環境、まちづくりに配慮し、設置届け出を求める条例もあり、市も届け出制を考えるべきでは。

問 設置者の負担になる事もあると思います。

答 再生可能エネルギーに新たな課題が生じています。調査研究して白井市にあった活用について考えます。

福井 みち子議員

市民の課題解決を支援する図書館へ

問 図書館運営を市直営で行うと選択した理由は。

答 職員専門性と継続性が不可欠であるためです。

問 図書館を単なる貸本、憩いの施設ではなく、市民の様々な課題解決を支援するところにするためには、

答 図書館の強化とPRが必要では。

問 PRしていききます。

答 司書配置の考慮、研修の充実、図書購入費の確保が求められるかどうか。

問 今後も図書館サービスの推進に努めます。

道路整備計画を策定し、市民に見える化せよ

問 道路整備基本計画は平成4年に策定されているが現状と差異が出ている。当時とは都市の様相は大きく変化し、NT事業も収束した。道路整備基本計画を見直す対象路線を位置付けます。

問 同時に、短中期的な道路整備プランを策定し、情報を市民と共有すべきでは。

答 新基本計画を策定します。その中に具体的な整備対象路線を位置付けます。

影山 廣輔議員

交通施策のやる気はどのくらい

問 白井にとって「利便性のよい交通ネットワーク」とは何か。その定義は。

答 基本計画に記すとおり。客観的に説明するため数値目標・指標、例えば循環バスなら、便数とかバス停の距離とか、成果・結果として乗客数何人を目指すなどの設定はありますか。

問 数値目標はありますか。

答 客観的な数値を市民に示し示すよう要望したい。

問 最近では第2次環境基本計画の中間見直しで交通施策が著しく後退している。市長以下執行部は総合計画の基本計画に示す交通施策をやり抜く意思はありますか。

答 基本計画は議会の議決も得ているので全力で取り組んでいきたいと思っています。

問 高齢者が進んでいきます。

答 役所周辺に病院、介護施設が集まる。そこへの流

れをよくし、デマンドバスなどの課題整理もしたい。

問 総合計画では子育て世代が意識されています。このバスで来れるようにしたい。

答 土日や昼間、総合公園に子育て世代が集う。循環バスで来れるようにしたい。

広沢 修司議員

防災・賑わいづくりの拠点「白井総合公園」

問 白井消防署協の総合公園は全市民が避難対象となっている市内唯一の広域避難場所となっています。そこで、この公園の特性に合った防災訓練を実施する考えについて、市の見解を伺います。

答 当該公園には災害時の炊き出しに利用できる、かまどベンチやトイレを設置するためのマンホールがあり、防災倉庫も整備したところでは。また、隣接の文化センターには耐震性非常用井戸を整備しており、訓練の実施に向けて「小学校区を基本的な単位とした地域のまちづくり」についても質問しました。

小田川 敦子議員

組体操の事故防止について、市としての安全対策の提示を

問 小・中学校における組体操の事故の有無と、その後の対応について伺います。

答 過去3年間で18件の医療機関に係る事故があり2件は救急搬送されましたが、ほとんどが捻挫や打撲でした。各学校において、事故の有無に限定せず、常に子どもたちの安全を最優先に考えています。

問 一人では得る事のできない達成感等の効果と伝統を鑑み実施しています。

答 文科省の通知を受けて、市としての対応を伺います。

問 学校判断で実施の場合、通知を踏まえて行います。

市民のニーズを反映した地域福祉計画（基幹計画）の策定を

問 今年度始まる総合計画と各個別計画と、基幹計画との整合性を伺います。

答 現在の地域ニーズや課題を基に、総合計画との整合性等も考慮し、基幹計画として各個別計画の方向性も導けるよう取り組みます。

和田 健一郎議員

国際交流と白井の発展

問 私も今年訪問団に参加した豪州キャンパスピ市との交流実績について。

答 今までの相互の訪問数は延べ503人。「しろいふるさと祭り」にも同市代表団が参加しています。

問 白井は空港への立地条件が良く18時に出発して当日中に近隣諸国に到着可能です。シティープロモーションでもPRできるのでは。

答 春先のアンケートでも空港へのアクセスが白井の魅力の2番目となっております。後検討していきたいです。

問 外国人住民が今後増えること予測されます。白井国際交流協会の日本語教室は赤字経営と聞いております。今後の市の方針は。

答 周囲の状況を見ながら研究し、同協会との協力も大事であるのであわせて検討していきたいです。

問 台湾への農産品輸出が再開された場合、白井の梨輸出への意欲は。

答 是非行いたいです。

石井 恵子議員

防災・減災対策は進んでいるか

問 帰宅困難者対策は。

答 避難する前に会社や学校で一時待つかと主なコンビニエンスストアやカラオケボックス、ファミリーストランなど31の事業所と県で帰宅支援ステーションの協定を結んでいます。

問 一時避難もできます。

答 車中泊については、パークラズ症候群を発症します。対策として具体的な内容を今後地域防災計画に盛り込んでいきます。

問 災害用食料の備蓄は。

答 農業センターにアルファ米1万1250食、パン2400食、ライスクッキー1480箱、ペットボトルの水5136ℓ、保健福祉センターには1068ℓを備蓄しています。

問 各避難所に設置されている災害用井戸の水は飲料水として適していますか。

答 現在11か所掘ってあり一部の水の中から鉄とマンガンが出ています。水質検査をすると鉄とマンガンを摂取しても健康に害はありませんが、色やにおいがあります。



小学校の防災井戸

平成27年度 政務活動費の公表

政務活動費は、議員報酬とは別に議員活動に必要な調査研究その他の活動に資するため必要な経費として支払います。1人当たり年額36万円で、使用しなかった費用は市へ返納します。各議員の使用内容は、下表のとおりです。

なお、平成27年4月に市議会議員選挙があったため、交付額はそれぞれ異なります。

平成27年度 政務活動費収支報告 (平成27年4月～平成28年3月)

(単位：円)

議員名	交付額	調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	事務費	合計	返金額
天下井 恵	30,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30,000
山本 武	30,000	0	0	10,000	0	0	0	0	6,358	7,254	23,612	6,388
中村繁太郎	30,000	0	0	0	0	0	0	24,644	2,623	2,487	29,754	246
鳥飼 博志	30,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30,000
田中 和八	330,000	0	0	66,177	0	0	0	1,271	8,685	89,575	165,708	164,292
平田 新子	330,000	1,025	128,828	38,238	0	0	0	3,675	13,340	92,970	278,076	51,924
中川 勝敏	330,000	1,025	90,296	95,926	0	0	0	540	68,581	8,099	264,467	65,533
和田健一郎	330,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	330,000
斉藤 智子	330,000	0	32,077	56,589	0	0	0	20,497	140,253	62,933	312,349	17,651
広沢 修司	330,000	1,025	12,060	38,238	0	0	0	1,410	41,179	10,901	104,813	225,187
秋谷 公臣	330,000	0	0	0	0	0	0	19,582	53,885	54,788	128,255	201,745
小田川敦子	330,000	8,980	166,723	0	0	0	0	0	34,597	84,172	294,472	35,528
血脇 敏行	330,000	1,025	0	6,106	0	0	0	0	99,838	84,491	191,460	138,540
植村 博	360,000	0	0	57,348	320	0	0	14,465	133,859	68,467	274,459	85,541
影山 廣輔	360,000	1,025	15,000	120,000	0	0	0	0	62,860	119,700	318,585	41,415
石井 恵子	360,000	0	0	57,021	0	0	0	17,552	110,033	84,000	268,606	91,394
長谷川則夫	330,000	0	0	32,290	0	0	0	489	121,667	84,000	238,446	91,554
柴田 圭子	330,000	1,025	132,990	106,769	0	0	0	3,000	126,903	0	370,687	0
福井みち子	330,000	8,117	123,326	89,447	0	0	0	2,420	78,168	28,522	330,000	0
石田 信昭	330,000	0	0	6,106	0	0	0	59,133	38,164	91,250	194,653	135,347
永瀬 洋子	330,000	0	121,100	0	0	0	0	7,500	196,249	10,776	335,625	0
竹内 陽子	330,000	1,025	109,856	103,749	0	0	0	3,840	60,752	51,732	330,954	0
多田 育民	360,000	42,580	77,640	120,000	0	0	0	0	122,357	0	362,577	0
幸正 純治	360,000	1,025	244,819	33,680	0	0	0	13,686	0	68,024	361,234	0
秋本 享志	330,000	0	0	0	0	0	0	0	78,408	91,520	169,928	160,072
合計	7,200,000	67,877	1,254,715	1,037,684	320	0	0	193,704	1,598,759	1,195,661	5,348,720	1,902,357

※収支報告の合計額が交付額を超えている場合は、議員個人の負担となっています。

議案等審議結果一覧表

○は賛成 ×は反対 ーは採決に不参加

議案番号	件名	付託委員会名	審議結果	各議員の賛否																				
				市民の声		市民自治ネットワーク				白井の夢		公明党			しろい政和			NT21		日本共産党		無所属の会		議長
				福井	小田川	柴田	影山	竹内	永瀬	多田	幸正	石井	植村	斉藤	石田	長谷川	血脇	秋谷	平田	広沢	中川	田中	和田	秋本
議案1	固定資産評価審査委員会委員 高倉聡子氏の選任	ー	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	
議案2	白井市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定	総務	原案可決	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	ー	
議案3	白井市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	文教民生	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	
議案4	白井市重度心身障害者の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定	文教民生	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	
議案5	白井市地域包括支援センターの職員に係る基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定	文教民生	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	
議案6	白井市都市計画法に基づく市街化調整区域内の立地基準に関する条例の一部を改正する条例の制定	環境経済	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	
議案7	市庁舎整備工事契約の変更	ー	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	
議案8	平成28年度白井市一般会計補正予算(第2号)	各委員会	原案可決	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	ー		
議案9	平成28年度白井市国民健康保険特別会計事業勘定補正予算(第1号)	文教民生	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	

白井市民にとって一番の問題である北総線高運賃。ただ高いだけでなく、沿線住民にとって差別的な運賃体系で、公平性の点でも問題です。北総鉄道（旧称北総開発鉄道）は、開業した1979年から98年までの間に9回にわたり運賃値上げを繰り返してきました。そして翌99年に結成されたのが、市民団体「北総線の運賃値下げを実現する会（通称北実会）」です。6月24日に開催された市議会と北実会との意見交換会では「鉄道運賃は公共料金であり競合路線が無いのをい事に異常な高運賃を維持することは許されない」と、市内の病院に通院している負担が大きい「現役時代の通勤定期代総額が180万円にもものぼり」「お前のために交通費の規約を改訂してやった」と嫌味を言われた」との意見があり、市議会に対し、運賃値下げに向けた組織の結成が要望されました。

(影山 廣輔)

議会を傍聴してみませんか

白井市議会では、議場での傍聴のほかインターネットでのライブ中継も行っています。ぜひご覧ください。

次の定例会は **9月1日(木)午前10時** 開会予定です。

編集後記

下総基地の米軍機使用絶対反対。